

# DAIGO

八代市立第五中学校  
学校だより  
令和6年7月2日  
文責：校長



Dream (夢)・Advance (前進)・Innovation (創造)・Growth (成長)・Originality (自分らしさ)

学校教育目標：「生徒の夢を育み、生徒と地域の未来を創造する教育～成長を実感できる学校～」

## 八代中体連大会 ～次の一步へ～

6月15日(土)、22日(土)・23日(日)、29日(土)に八代中体連大会が行われました。団体では女子バレーボール(第七中と合同)が3位に入賞しました。個人では剣道女子で宮崎仁愛さんが優勝、剣道男子の岩奥真膳くんが3位に入賞、陸上では上田初華さんが2年女子100mで優勝、県大会に出場することになりました。(剣道女子は団体でも出場)水泳競技では下釜逞真くん、下釜那葉さん、森山和奏さんも県大会に出場します。



また、入賞はできなかったものの、それぞれの競技で五中生はしっかりと頑張りを見せてくれました。一人一人の健闘を労りたいと思います。今回で一区切りとなる3年生は次なる目標を設定し、その達成に向けて努力を始めてください。明日・明後日は上級学校説明会もあります。

## 素敵な光景 ～人間的な成長を感じる～

今回の中体連大会では3日間サッカー競技の会場担当を務めることとなりました。6月15日(土)は曇り空の天候でしたが、22日(土)・23日(日)は激しい雨に加えて風も強く、雨雲や雷の予報とにらめっこしながらの大会運営となりました。そのような中でも役員・引率の先生方や審判の方々が早朝より準備や対応をしていただくとともに、参加した生徒や保護者の方々のご協力により、無事に大会を終えることができました。1回戦から内容の濃い好ゲームが続きましたが、最後の決勝戦はさすがに勝ち上がってきたチーム同士とあってどちらが勝ってもおかしくない熱戦になりました。前後半の試合時間が終わり、延長でも決着がつかず、最後はPK戦にもつれ込みました。どちらも一生懸命に練習を重ね、大会に臨んできたことが伝わってきました。

ただ、この試合ではゲーム内容だけでなく、素敵な光景を目にすることができました。ゲームの終盤、疲れて倒れ込んでいる相手チームの選手の足(ふくらはぎ)を伸ばしてくれている選手がいました。本人自身も疲れているであろう時間帯に敵である相手チームの選手をケアし、声をかけ、正々堂々と戦おうとしている姿がありました。

また、6月25日(火)は順延になっていた野球の試合が行われました。(五中の応援にも行かせてもらいました)体や心のコンディションを整え、維持していくのは大変だったと思いますが、互いに声を掛け合い、一人一人ができることを精一杯やっていました。それだけでも素晴らしいと感じました。試合は残念ながら負けてしまい、悔しそうに涙する選手が数多くいました。しかし、そのような中でも、試合終了後にはトンボを手に取り、当たり前のように荒れたグラウンドを整備する姿がありました。その光景も素敵でした。

彼らの人間的な成長を感じた瞬間でした。部活動に関しては現在改革の真っ只中ですが、貴重な教育活動であることを再認識しました。感動をありがとうございました。



## 学びの成果 ～短歌・俳句deストーリー～

国語の時間に学習してきた「短歌・俳句」。選んだ句に自分なりのストーリー(挿絵を含めて)を書き込んだ作品が中央階段に掲示されました。同じ句でも一人一人がイメージする情景があり、なかなか興味深く読ませてもらいました。金子みすゞさんの詩のように、「みんなちがって、みんないい」です。今週は授業参観や上級学校説明会もあります。是非、保護者の方々も鑑賞されてください。



6月26日(水)は、さくら学級の前で収穫されたキュウリを使って調理実習がありました。切ったキュウリと塩昆布を和え、アクセントに青じそも加えられました。できあがった料理を生徒がお手紙付きで校長室に持ってきてくれました。爽やかで夏らしい一品でした。美味しかったです。

